



2022. 1. 14

ファブリック トウキョウ (株)FABRIC TOKYOに対する「新株予約権付融資」を実施

静岡銀行(頭取 柴田 久)では、第14次中期経営計画「COLORs～多彩～」で取り組む10年戦略「地域プロデュース戦略」におけるベンチャービジネスへの取組強化の一環として、本日、(株)FABRIC TOKYO(代表取締役 CEO 森 雄一郎)に対し、静岡銀行グループ初の「新株予約権付融資(※)」を実施しましたので、その概要をご案内します。

※新株予約権付融資/株式公開等をめざして積極的に成長投資を行う企業に対する融資に際し、新株予約権の割当を受けるもの

1. 新株予約権付融資の概要について

- (1) 融資実行日/1月14日(金)
- (2) 融資金額/2億円(無担保・無保証)
- (3) 融資期間/3年
- (4) 資金使途/事業資金

<会社概要>

企業名	株式会社 FABRIC TOKYO (代表取締役 CEO 森 雄一郎)
住所	東京都渋谷区神宮前2丁目34-17
事業内容	カスタムオーダーアパレルブランドの展開
企業 HP	https://corp.fabric-tokyo.com/
公式 EC サイト	https://fabric-tokyo.com/

2. 新株予約権付融資の背景・目的等について

- 同社は、オンライン発のカスタムオーダーアパレルブランドで、販売チャネルは EC サイト(電子商取引)だけでなくリアル店舗も展開されています。一度の来店により採寸したデータは「パーソナルデータ」としてクラウドに保存され、サイズ登録後は、自宅に居ながら洋服のカスタムオーダーが利用可能となります。
- また、製品の企画・製造・販売を一貫して行い、代理店や流通、小売店等を介さずに消費者に直接的に販売する「D2C(Direct to Consumer)」のビジネスモデルを構築し、消費者と近い距離でのづくりを行っています。
- 静岡銀行グループでは、第14次中期経営計画において新たな収益機会の追求をめざし「イノベーション戦略」に取り組んでおり、その一環として、将来性・成長性のあるベンチャー企業に対する投融資や事業支援等を通じた新たな事業分野の開拓を実践しています。
- 新株予約権付融資の取扱開始により、一般的に資金調達の方法が限られるベンチャー企業に対しても、革新的なビジネスモデルに着目することで、新たな資金調達手段の提供が可能となります。
- 今後も、次代を担うベンチャー企業を支援するため、創業期、成長期など事業フェーズに応じたサポートメニューを提供することで、新たなイノベーションの創出を図り、地域の産業や経済の育成、成長の支援に取り組んでいきます。